

居住環境学専攻の4つの分野と専任スタッフ

農山村・都市環境分野



●専門分野：農山村域計画学
●研究課題：農村景観整備計画論、農山村集落の空間構成及びその利用活用管理に関する研究
●授業科目：居住環境論、地域計画論、農山村地域計画学、居住環境計画学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲなど
●学位：博士（工学・京都大学）
●E-mail：k-nakaji@pu-kumamoto.ac.jp

教授
中島 熙八郎 (Kihachiro NAKAJIMA)

日本の農山村に秘められた自然と共に生きる豊かな知恵と技を現代に活かした、美しい国土と環境共生型居住環境づくりについて学びます。



●専門分野：都市計画、まちづくり、アーバンデザイン
●研究課題：都市開発とクオリティ・オブ・ライフ、地域コミュニティ計画、デンマークにおける都市再生事業とコミュニティ開発
●授業科目：比較都市文化論、都市居住政策学、都市計画、居住環境計画学実習Ⅰ・Ⅱなど
●学位：博士（学術・奈良女子大学）
●E-mail：nishi@pu-kumamoto.ac.jp
●web：http://pu-kumamoto.ac.jp/~nishi/

講師
西 英子 (Eiko NISHI)

都市計画の理論や技術、関連諸制度、国内外のまちづくり実践例を通して、今後の都市生活空間のあり方について学びます。

居住空間分野



●専門分野：住宅計画学、住宅史学
●研究課題：対自然・対社会との共生を視点にした住空間構成の歴史学的及び計画学的研究、日本の城下町都市における近世近代の都市住宅に関する研究
●授業科目：比較住文化論、住空間計画原論、住空間計画学、居住環境計画学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲなど
●学位：工学博士（九州大学）
●E-mail：ooka@pu-kumamoto.ac.jp

教授
大岡 敏昭 (Toshiaki OOKA)

地域の豊かな自然と独自の文化を探ることにより、豊かな地域性と歴史を重視した住空間のあり方を学びます。



●専門分野：福祉住環境学
●研究課題：高齢者における住宅改造と生涯住宅のあり方、福祉施設の計画、オランダの高齢者住宅政策とグループ居住
●授業科目：福祉住環境原論、福祉住環境計画学、福祉施設計画学など
●学位：博士（工学・京都大学）
●E-mail：murakami@pu-kumamoto.ac.jp

教授
村上 良知 (Yoshitomo MURAKAMI)

共生社会のために、誰でも住みやすいユニバーサルデザイン（UD）による居住環境の計画理論と技術を学びます。

環境調整・設備分野



●専門分野：建築環境学、都市デザイン、建築史
●研究課題：都市の半戸外空間における温熱環境と気候風土、戦前期日本の南方進出に伴う建築活動と室内環境調整、コミュニティの核としての商店街における公共性
●授業科目：地域環境調整学、環境設備原論、住環境調整学、居住環境調整工学実験など
●学位：博士（工学・京都大学）
●E-mail：m-tsuji@pu-kumamoto.ac.jp
●web：http://pu-kumamoto.ac.jp/~m-tsuji/

助教授
辻原 規規彦 (Makihiko TSUJIHARA)

各地の気候風土の違いを考慮して、豊かな自然を有効に利用したこれからの地域の環境調整のあり方とその方針について学びます。



●専門分野：建築環境学、建築設備工学
●研究課題：室内温熱環境形成に関わる自然エネルギー利用、特に自然通風の有効利用、建築設備に関わる省エネルギー、環境負荷削減技術
●授業科目：人間環境健康原論、環境設備システム学、環境設備システム学演習など
●学位：博士（工学・東京都市大学）
●E-mail：hosoi@pu-kumamoto.ac.jp

講師
細井 昭憲 (Akinori HOSOI)

環境負荷とエネルギー消費量の削減、および室内の快適な温熱環境を両立するための理論や最新の技術、手法について学びます。

構造・材料分野



●専門分野：木質構造学、建築耐震構造
●研究課題：木造軸組構造物の耐震性能評価、伝統的木造建物の構造特性の解明、都市建築群の地震被害推定と都市地震防災
●授業科目：木質構造学、居住空間材料学、居住空間材料学実験、建築構法など
●学位：博士（工学・京都大学）
●E-mail：kitahara@pu-kumamoto.ac.jp

教授
北原 昭男 (Akio KITAHARA)

環境に優しい居住空間の構築を目指して、木造建物を中心に構造物の構築方法、建築材料の利用法、建物の耐震安全性などについて学びます。



●専門分野：建築構造学
●研究課題：木・鋼ハイブリッド耐力壁、木と鋼の環境共生住宅、鋼・コンクリート合成構造に関する研究
●授業科目：居住空間構造力学Ⅰ（静定）Ⅱ（不静定）、居住空間構造学実験、居住空間構造学Ⅰ（鉄筋コンクリート）など
●学位：博士（工学・九州大学）
●E-mail：lili@pu-kumamoto.ac.jp
●web：http://pu-kumamoto.ac.jp/~lili/

助教授
李 麗 (Li LI)

美しさと安全性を両立させる空間造形を可能にする力学や、要求性能に相応しい構造材料の組み合わせ等に関する理論と技術を学びます。

非常勤講師陣 一学外の様々な専門家の皆さんも講義を担当されています ※平成18年度任用者

- 秋元 一秀 (崇城大学 助教授) 秋吉 卓 (熊本大学 名誉教授) 内丸 恵一 (崇城大学 講師) 小川 厚治 (熊本大学 教授) 角道 弘文 (香川大学 助教授)
- 小材 健二 (ばん設計小材事務所 代表) 阪本 博美 ((有) 浦田デザイン室) 杉本 正美 (神戸芸術工科大学 教授) 中野 和枝 (中野かずえ設計事務所 所長)
- 古川 保 (すまい塾古川設計室 (有) 代表) 本間 里見 (熊本大学 助教授) 村上 聖 (熊本大学 助教授) 村橋 久昭 (崇城大学 教授)
- 室崎 益輝 (総務省消防庁消防大学校 消防研究センター 所長) 本村 徹郎 (画家) 柳沢 厚 ((株) Cまち計画室 代表)

居住環境学専攻のカリキュラム 一本気で環境共生型居住環境づくりに取り組む構成です！

		1学年		2学年		3学年		4学年		
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
教養科目群		外国語（42科目）、「健康スポーツ科学」（3科目）、「人間と文化の理解」（18科目）、「国際理解」（8科目） 「現代の科学技術と環境」（13科目）、「現代社会の理解」（11科目）、「情報科学」（3科目）								29
学部共通科目	導入科目	環境共生論 2 エコシステムを考える 2 居住環境を創る(計画論) 2 栄養と運動と休養 2		環境は資源 2 居住環境を創る(構築論) 2 食と環境 2 フィールドワーク 1		導入科目・基礎科目とは？ Pick Up! 居住環境学の専門分野に入る前の大切な基礎として、「環境共生に関わる自然や文化」を学びます。				15
	基礎科目			地球環境科学 (2) 基礎生態学 (2) 比較都市文化論 (2) 人間環境健康原論(2) 食料経済 (2)		沿岸環境保全論 (2) 地域計画論 (2) 福祉住環境原論 (2) 食文化論 (2) 環境衛生学 (2)		水環境管理学 (2) 健康管理学 (2)		17
専門科目群	基礎科目	基礎デザイン実習Ⅰ (1) 図学 (2)		居住環境計画学実習Ⅰ-1 (2) 数学Ⅰ (2) 物理学Ⅰ (2)		基礎デザイン実習Ⅱ (1) 居住環境計画学実習Ⅰ-2 (2) 数学Ⅱ (2) 物理学Ⅱ (2) 応用情報処理実習 (1)		環境共生総合演習 (1)		1
	農山村・都市環境	福祉住環境計画学・福祉施設計画学とは？ Pick Up! 生活の場である建物やまちを、「障害を持つ人」「お年寄り」「子供」など弱い立場の人々の視線から見直し、誰もが障害なく暮らせる場所に作り替える方法を考えます。ヨーロッパなどの福祉住環境先進国の事例も紹介します。		農山村域計画学 (2) 都市計画 (2)		地域景観計画学 (2) 生態空間計画学 (2) 都市居住政策学 (2)		都市居住政策学とは？ Pick Up! 人々が住み続け、活気溢れる都市を目指し、「コミュニティ」「住民参加」「歴史や文化」「環境への配慮」などを大切に国内外の様々な都市づくりの事例を学び、未来に向けた都市づくりの仕組みを考えます。		66
専攻専門科目	居住空間	建築史 (2) インテリアデザイン論 (2)		比較住文化論 (2) 住空間計画原論 (2) 建築計画学 (2) インテリアデザイン実習 (1)		住空間計画 (2) 福祉住環境計画学 (2) 住空間計画学 (2)		福祉住環境計画学 (2) 福祉施設計画学 (2)		66
	環境調整・設備	木質構造学とは？ Pick Up! 日本を含む世界の木質構造(天然材料一木を用いた)建築の仕組み、成立の歴史木の隠された長所など、その素晴らしさに光を当て、「自然森林を大切にしながら人に優しい」木質構造建築の新しい可能性について考えます。		環境設備原論 (2)		居住環境調整工学実験 (1)		住環境調整工学 (2) 環境設備システム学 (2) 地域環境調整工学 (2) 環境設備システム学演習 (1)		地域環境調整工学とは？ Pick Up! 現代都市の環境は、人・自然にとって過酷なものになり、膨大なエネルギーを使って「人工的」に制御しています。そのあり方を根本的に改め、緑・風・土・水など「自然の力」を巧みに活用した制御方法を考えます。
地域計画	構造・材料	建築構法 (2) 居住空間材料力学 (2)		木質構造学 (2) 居住空間構造力学Ⅰ(静定) (2) 居住空間構造学実験 (1)		居住空間構造力学Ⅱ(不静定) (2) 居住空間材料学 (2) 居住空間構造学Ⅰ(静定) (1)		居住空間構造学Ⅰ (2) 居住空間構造学Ⅱ (2) 居住空間構造学Ⅲ (2) (耐震)		
	地域計画			森林生態学 (2) 森林環境アセスメント実習 (1) 沿岸環境アセスメント実習 (1) 地方自治論 (2)		海洋生態学 (2) 植物食資源学 (2)		大気環境学 (2) エネルギー環境学 (2) 環境関連法規 (2) 社会政策論 (2) 公共政策論 (2) 環境経済学 (2)		比較地方自治論 (2) 公共計画論 (2) 環境行政論 (2) 地域産業論 (2)
全体共通	地域計画			居住環境学専攻専門科目の展開科目である「地域計画」は、「自然環境科学」や「地域計画に関する社会科学」の科目群も豊富に選択できるようにしています。		居住環境計画学実習Ⅱ-1 (2) 居住環境計画学 (1)		居住環境計画学実習Ⅱ-2 (2) 測量実習 (1)		居住環境計画学実習Ⅲ-1 (2) 居住空間施工学 (2) 居住環境計画法規 (2) 環境防災・安全工学 (2)
卒業研究		卒業論文 (もしくは卒業設計)								8
合計										136

※ 太文字で示した科目は、他建築学科にはみられない本専攻独自のユニークで大切な科目です。
※ 専攻専門科目は、他専攻専門科目20単位までは卒業要件単位になります。
※ () は、選択科目です。